

日 時	令和4年8月29日(月) 11:30~11:50 第11回経営会議
出席者	市長、平原副市長、城副市長、伊地知副市長、大久保副市長、 政策局長、総務局長、財政局長、政策局政策調整担当理事
欠席者	なし
議 題	行政運営の基本方針(素案)について【総務局】
議 事 要 旨	<p>【論点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本格的な人口減少社会への突入など、時代が大きな転換期にある中で、市民の皆様の今の生活や暮らしを支え、豊かな未来をつなぎ、持続可能な市政運営を実現するため、横浜市役所と職員がこれから「どのような考え方で、何に重点をおき、どういった姿勢で行政運営に取り組むか」を示す「行政運営の基本方針」(素案)を策定する。 <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「財政」を土台とし、「政策」実現を支えていくため、「組織・人材」「運営の仕組み」について、全職員が共通の認識に立って進めるための方針とする。 ・「信頼ある行政運営」、「責任ある行政運営」の推進に向けて、行政運営の基本方針の「3つの重点」を設定。 <ul style="list-style-type: none"> 重点1：組織の最適化と職員の能力・役割発揮の最大化 重点2：行政サービスの最適化～事業手法の創造・転換～ 重点3：住民自治の充実と協働・共創による地域の更なる活性化 ・横浜市役所・職員が、行政運営の基本方針を進めていく上での基本姿勢として「3つの視点」を設定。 <ul style="list-style-type: none"> 視点1：職員の意識改革 視点2：DX・データ活用 視点3：公民連携 <p>【主な意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データに基づき、PDCAサイクルを意識する必要がある。 ・「重点2：行政サービスの最適化」は重要であり、しっかりと進捗管理をしていく必要がある。 ・どの取組も覚悟を持って取り組んでいく。一日一日の取組の積み重ねが大切になる。 <p>【結論】</p> <p><u>局案について了承。</u></p>